

「第 66 回日本母親大会 in 沖縄」開催延期のお知らせ

2020.7.16

第 66 回日本母親大会実行委員会

全国のみなさん、お元気でお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染拡大は、未だ収束の気配はなく、世界中を不安と恐怖に陥れています。一日も早く収束して欲しいとの期待の一方で、見通しが持てないという、かつて経験したことのない状況のもとで、心配し不安を感じておられることと存じます。

第 66 回日本母親大会実行委員会は、緊急事態宣言解除後の新たな新型コロナウイルス感染拡大の中、7月16日開催の第3回実行委員会で現状を議論しました。話し合いの結果、現在の状況ではこれ以上大会開催に向けての準備を進めることは困難であるとして、2020年11月の開催を断念し、来年の2021年11月13日～14日（沖縄コンベンションセンター）に、大会を延期することにしました。

1月23日に発足した第66回日本母親大会実行委員会は、大会の構成、記念講演講師の要請、分科会のテーマや内容を検討し、開催地沖縄のみなさんとも相談した企画にもとづき、チラシ、ポスターを作成し、3月から全国に参加を呼びかけてきました。また、現地沖縄では1月27日に「第66回日本母親大会 in 沖縄 沖縄県実行委員会」を発足、団体や自治体・教育委員会、マスコミ要請にとりくみ、沖縄県をはじめ、県内15自治体と17教育委員会、沖縄県婦人連合会等13団体、7マスコミから後援をいただき、那覇市長・城間幹子さんからは歓迎のメッセージが届いています。この間、全国から参加の申し込みが続き締切りの6月末までに、目標を大きくこえて、約3000人余の参加申し込みがありました。

しかし、再び感染が拡大するなかで、全国から、そして開催地沖縄からも、この状況の中での開催は厳しいのではないかとの声が寄せられました。また、7月に入り沖縄県での年内の大きなイベント等の中止・延期の決定が続いています。こうした状況をふまえ実行委員会は、今年 of 大会開催は困難であると判断しました。1年先延ばしとなりますが、全国の参加者の沖縄連帯の熱い思いを受けとめ、これまでの運動を生かして、さらに広範にはたらきかけ、じっくりと取り組みを進めていこうと気持ちを切り替えました。

予定変更に当たりまして、中央団体・県母親大会連絡会をはじめたくさんの方々にご迷惑をおかけすることになりますが、日本母親大会65年の歴史の中で初めての事態です。どうかご理解いただき今後も変わらず、一層のご協力をよろしく願います。

みなさん、どうぞお身体に気をつけてお過ごしください。